

上小地域農業振興研究懇談会が開催されました

8月23日、長野県農業農業経営者協会上小支部と長野県農業士協会上小支部共催による「上小地域農業振興研究懇談会」が、長野県上田合同庁舎6階講堂に於いて開催され、農業経営士、農業士11名と上田農業農村支援センター職員が出席して開催しました。

今年度のテーマは、深刻化している喫緊の課題、「農業の担い手対策」について「上小地域の担い手育成について」話合われました。

事前に、新規就農者確保の事例として、J A 信州うえだファーム顧問船田寿夫氏から若手農業経営者の経営発展、タローファーム株式会社小川哲生氏から報告を頂き、当センターからは担い手育成の現状や取組、課題について情報提供をしました。

その後の意見交換では、新規就農者確保や若い農業経営者が経営発展を図る上での支援や課題に対する意見が出されました。

中でも地域農業の中心を担う経営体が規模拡大を図る上では、効率化と人手確保が大きな課題になっていること、規模拡大志向農家とそうでない農家、新規就農者の農地利用の棲み分けが必要だ、との発言もあり、「人・農地プランの実質化」の重要性も示唆されました。

両協会支部では、今回の意見をまとめ、今後開催予定の県行政や地元県議との懇談会等で提言することとしています。



懇談会の様子